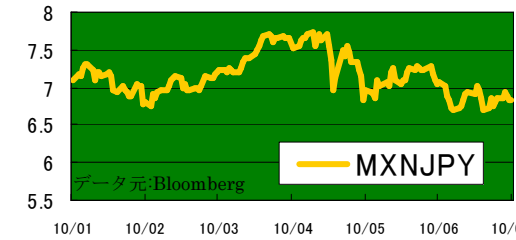
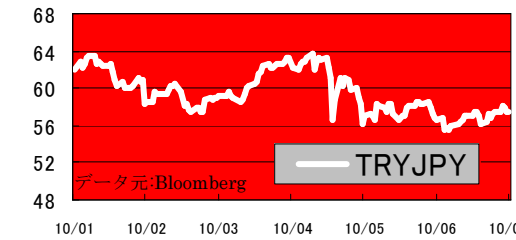
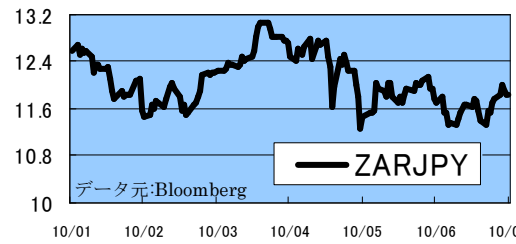
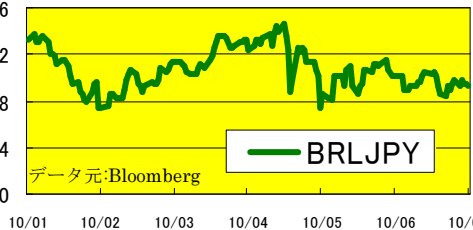
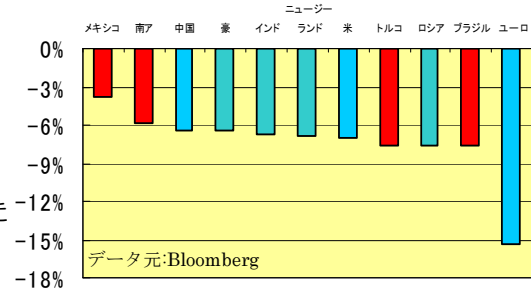




エマージング通貨の対円年初来騰落率 10年1月1日～10年7月30日



直近の動向

7月は世界的な株高からリスク選好の流れとなり、円安が進んでいたが、中旬に米連邦公開市場委員会（FOMC）議事録で経済下支えのため追加措置が必要になる可能性が示唆されたことやFRB議長の発言などで米経済の懸念が台頭、ドルが売られ円が買われた。欧州銀行のストレステストを材料に持ち直すも、ストレステストの内容は不十分であるとの声もあり、市場不安を払拭するには至らなかった。月末には米GDP発表が警戒され、ドル安傾向となっていたが、結果が予想を下回る成長率となると、米経済に対する懸念が広がりドル売りが加速、1ドル85円台に達した。

ブラジル

21日に政策金利を10.75%に引き上げ。市場予想の0.75%上げを下回る0.5%上げ。インフレ状況は落ち着いているものの中銀の目標値は上回っている。鉱工業生産や小売売上高指数が事前予想を下回り、経済成長の勢いが弱まってきているとの見方が広がりつつあるが、自動車減税の打ち切りによる一時的な調整であるとの見方も。内需が拡大傾向を継続しているのには変わらない。

南アフリカ

22日に政策金利を6.50%で据え置き。実質小売売上が事前予想を超える前年比+4.6%、小売売上高も前月比+1.3%と好調。しかし、製造業生産の伸びが鈍化、失業率が悪化するなど、軟調な指標も見られ、景気回復ペースは緩慢であることが示された。インフレ率も落ち着いており、今後も利上げされる可能性は低いと見られている。南アは20年の夏季五輪開催に立候補する意向を表明している。

トルコ

16日に政策金利を7.00%に据え置き。経済は回復傾向にあるが、インフレ率は低下した。株式市場が連日のように史上最高値を更新したが、貿易赤字の拡大が懸念的となり、海外からの直接投資が増加しておらず、経常赤字に陥っている。天然ガスパイプラインが爆破されるなどのクルド労働党（PKK）武装勢力の攻撃の激化やイスラエルとの関係悪化など、治安悪化も懸念事項である。

メキシコ

16日に政策金利を4.50%に据え置き。内需回復は緩やか、インフレ率は安定。自動車関連が大きく成長し、6月の自動車輸出数が単月で過去最高（国内販売は低調で前月比-2.8%）、米国におけるメキシコ産の市場シェアが10%を超えた。自動車関連はメキシコ産業の25%前後を占めるため、米景気のメキシコに与える影響は大きくなる。米景気に陰りが見えれば、下押し懸念が台頭する。

為替レート見通し

対円 (JPY)	10/08	10/11	11/02	11/08
米ドル (USD)	86	85	86	87
ブラジルリアル (BRL)	49	49	50	51
南ア・ランド (ZAR)	11.8	11.7	11.8	11.9
トルコリラ (TRY)	57	56	57	57
メキシコペソ (MXN)	6.87	6.74	6.83	6.91



この資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的とした2010年8月2日現在の当社の意見になります。また、当社が信頼できると考える情報源から得たデータに基づき作成しておりますが、その情報の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。

店舗案内

本社 :
 東京都中央区新川
 一丁目21番2号
 茅場町タワー
 TEL: 03-5541-7887

京都支店 :
 京都市中京区烏丸通
 錦小路上手洗水町
 659番地 烏丸中央ビル
 TEL: 075-222-1001

大阪支店 :
 大阪市中央区南船場
 一丁目18番17号
 商工中金船場ビル
 TEL: 06-4705-6701

名古屋支店 :
 名古屋市中村区名駅
 三丁目22番8号
 大東海ビル
 TEL: 052-564-0051

札幌支店 :
 札幌市中央区
 北一条西二丁目1番地
 札幌時計台ビル
 TEL: 011-221-1375

越谷支店 :
 埼玉県越谷市赤山本町
 2番14号
 越谷駅西口TRビル
 TEL: 048-967-6011

宝塚支店 :
 兵庫県宝塚市逆瀬川
 一丁目11番1号
 アピア2
 TEL: 0797-77-7751